令和 元年 ８月２８日
新潟県病害虫防除所

令和元年度

# 新潟県病害虫発生予察速報第 11 号

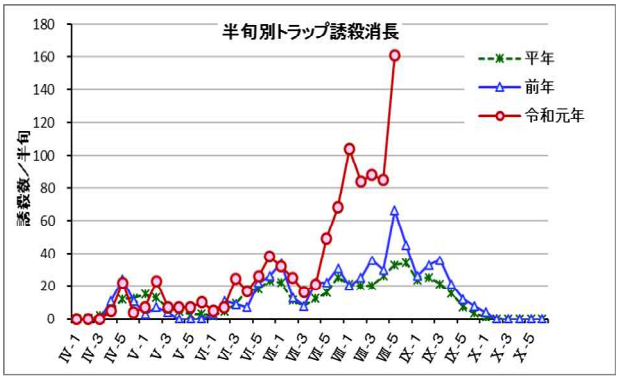
## （なしのナシヒメシンクイの多発生に注意）

### １　フェロモントラップの誘殺状況

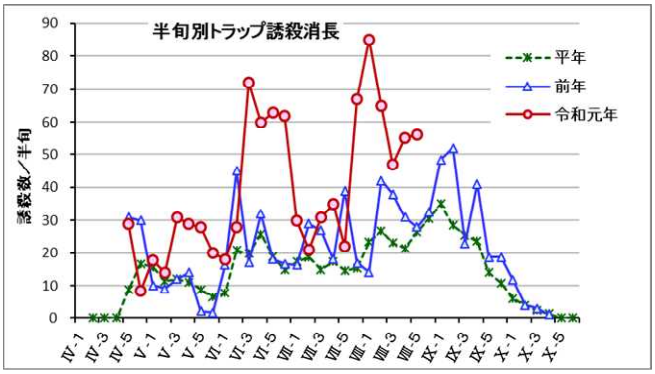
（１）　ナシヒメシンクイの越冬世代成虫、第１世代成虫のフェロモントラップにおける誘殺数は、平年比多かった。第２世代以降誘殺数が急増し、各地で平年を大きく上回る誘殺が続いている（図１）。

（２）　８月下旬の防除所の予察調査において幸水で被害果が確認され、発生量は平年比多い。また、各主要産地で果実の被害が報告されている。

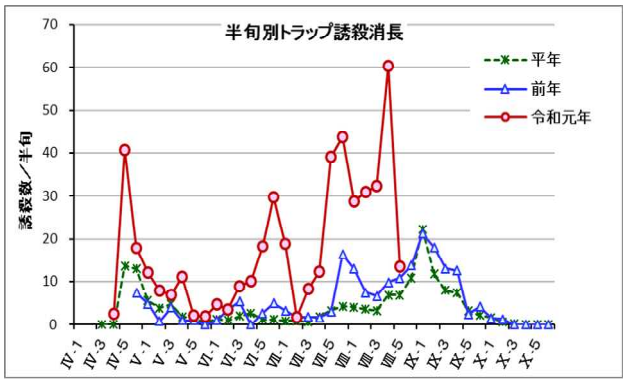
（３）　気象庁８月22日発表、向こう１か月予報によると、気温は平年比高いと予想されており、本種の増殖、果実加害に助長的である。



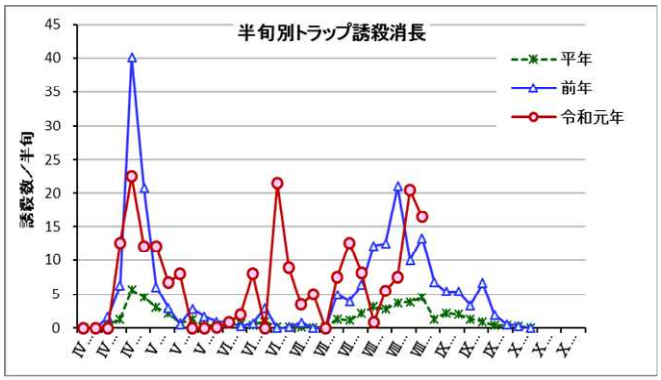

県園芸研究センター（聖篭町）




新潟市江南区




新潟市秋葉区




加茂市山島

図１　フェロモントラップにおける各地のナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺消長

### ２　防除時期と防除上の注意点

（１）被害果は園内に放置せず、土中深く埋める等、適切に処分する。

（２）被害が見られる園では、フェロモントラップの誘殺状況を確認しながら、９月上旬の防除を徹底するとともに、新高、新興等の晩生品種では９月中～下旬にもスカウトフロアブルなどを追加散布する。また、薬剤防除に当たっては、収穫前日数に十分注意する。

（３）スピードスプレーヤーによる薬剤散布は全列散布を行い、可能であれば縦横散布で防除し、かけむらのないよう留意する。